

# 利用報告書

課題名	バイオコンピュータに関する基礎研究
	Basic Study on Bio-computer
利用者名	今泉 重夫 (社会学部産業社会学科・教授)
<b>1. 研究目的・内容</b> <p>現在、広く利用されているノエマン型コンピュータは種々の問題があることがわかり、生体機能を積極的に取り入れたバイオコンピュータが最近、開発されつつある。その基礎研究を行っている。</p>	
<b>2. 研究方法・計算方法</b> <p>バイオコンピュータ用の素子を生体膜・人工膜より開発し、その特性を測る作業を行っている。そのための熱容量スペクトロスコピー装置を開発中である。現在、デジタル制御により装置の動作を確認するためのシュミレーションを実施している。</p>	
<b>3. 研究成果</b> <p>装置の制御と運転のためのソフトウェアの改良、そのバージョン・アップを行い、シュミレーションを続行中である。また、システム・ハードウェアの設計を行った。</p>	
<b>4. 発表</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 今泉重夫 “一解説— 奈良大学統合情報処理システム (NUICE) の概要 (II)” 奈良大学情報処理センター年報：4 p45 (1993)。</li><li>2. SHIGEO IMAIZUMI “DYNAMIC HEAT CAPACITY IN LYOTROPIC LIQUID CRYSTALS AND BIOLOGICAL MATERIALS” 名大出版会 (1993)。</li></ol>	